

	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	商業科	1年	国語	現代の国語	2	新編 現代の国語(数研出版)			
	科目の目標	国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、伝え合う力を高める。 (3)言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。							
月・考査等	単元名	指導内容	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など	
			知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【態】				
4	書き手の意図をつかむ/目指す世界の地図を作る	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができるようにする。	話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。〔(1)イ〕 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。〔(1)ウ〕	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕	筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	生徒観察 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
5	書き手の意図をつかむ/わかりやすく話す	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができるようにする。	話し言葉と書き言葉の特徴を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現について理解している。〔(1)イ〕	「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、情報を整理して、伝え合う内容を検討している。〔A(1)ア〕	粘り強く表現を工夫し、学習を生かしてわかりやすく説明しようとしている。	パフォーマンステスト 評価シート 生徒観察	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
中間考査									
	文章の展開を把握する/時間とは何か	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解することができるようにする。	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。〔(3)ア〕	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕	筆者の考えを粘り強く理解し、適切な表現を用いて、学習課題に具体的な事例を考え、学習課題に沿って論理的にまとめようとしている。	生徒観察 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
6	文章の展開を把握する/メモをとりながら聞く	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	話し言葉と書き言葉の特徴を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現について理解している。〔(1)イ〕	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、聞き取った情報を整理している。〔A(1)エ〕	話し言葉と書き言葉について理解を深め、学習課題に沿って聞き取ろうとしている。	パフォーマンステスト 評価シート 生徒観察	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
6	コミュニケーションと言葉/非言語コミュニケーション	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができるようにする。	個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔(2)イ〕	「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。〔A(1)ア〕	筆者の意見を踏まえて積極的に具体的な事例を考え、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	生徒観察 評価シート パフォーマンステスト	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
	コミュニケーションと言葉/適切な書式で通知する	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができるようにする。	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)エ〕	「書くこと」において、事柄が的確に伝わるよう、説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。〔B(1)ウ〕	粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって通知文を書くようにしている。	生徒観察 レポート 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
期末考査 7									
	日常の中の文章/写真を文章で説明する	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができるようにする。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。〔(1)イ〕	「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。〔B(1)ウ〕	課題資料が示す内容を積極的に読み取り、読み手に伝わりやすい表現を工夫して、学習課題に沿って説明しようとしている。	生徒観察 レポート 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
8	課題7								
9	日常の中の文章/表現の工夫を読み取る(新聞)	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができるようにする。	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕	「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕	課題資料を参考にしながら、伝わりやすい形式・表現を積極的に工夫し、学習課題に沿って適切に記事をまとめようとしている。	生徒観察 レポート 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
10	言葉の働きをとらえる/コインは円形か	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができるようにする。	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕	「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。〔C(1)イ〕	筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	生徒観察 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
中間考査									
	対比を読み取る/里山物語	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができるようにする。	比喻、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。〔(1)カ〕	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)カ〕	筆者の主張を粘り強く読み解いて自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	生徒観察 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
11	書き手の考えを比較する/必要な情報を整理して書く	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができるようにする。	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。〔(2)エ〕	「書くこと」において、目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕	粘り強く情報が分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って利用規約を書くようにしている。	生徒観察 レポート 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
	社会の中の文章/課題を発見し解決策を発表する	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができるようにする。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使っている。〔(1)イ〕	「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。〔A(1)イ〕	課題の内容を伝えるために、積極的に形式や表現に工夫を凝らして資料を作成し、学習課題に沿って発表しようとしている。	パフォーマンステスト 評価シート 生徒観察	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
期末考査 12									
12	話し言葉の技術/ディベート・討議	論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	推論の仕方を理解し使っている。〔(2)ウ〕	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。〔A(1)エ〕 「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的に応じて、結論の出し方を工夫している。〔A(1)オ〕	相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫しようとしている。	生徒観察 評価シート パフォーマンステスト	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
1	根拠を読み取る/「わらしべ長者」の経済学	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができるようにする。	文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕	自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って、自分の考えをさらに深めようとしている。	生徒観察 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
2	社会の中の文章/根拠の妥当性を説明する	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができるようにする。	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕	「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えるとともに、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。〔B(1)ウ〕	解説内容を粘り強く理解し、論証の仕方について学習課題に沿って考えようとしている。	生徒観察 レポート 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
	話し言葉の技術/プレゼンテーション	話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができるようにする。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。〔(1)イ〕	「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。〔A(1)ウ〕	相手にわかるような発表のしかたについて粘り強く検討し、今までの学習を活かして、多様な観点で表現を工夫しようとしている。	パフォーマンステスト 評価シート 生徒観察	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○
学年末考査									
3	書き言葉の技術/意見文を書く	目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を要えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができるようにする。	引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。〔(2)オ〕	「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。〔B(1)エ〕	今までの学習を生かして、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように表現や構成を工夫し、学習課題に沿って意見文を書くようにしている。	生徒観察 レポート 評価シート 定期考査	新編 現代の国語 準拠ワーク 論理的に考えるLT現代文1 新常用漢字必携バーフェクトクリア		○◎○